

シネマフェスティバル2025

「映画のまち調布」を象徴するシネマフェスティバル2025が2月7日に開幕する。調布映画祭を衣替えしたフェスティバルは今年で7回目となり、作品を支える技術スタッフら裏方の仕事に脚光を当てるイベントとして注目を集めてきた。

先立って選考が行われた「映画のまち調布賞」では7部門での受賞者が決まった。このうち調布の映画文化、芸術、産業の振興に多大な貢献と実績を残した個人や団体に贈られる特別賞には、市内のスタジオから最先端の映像技術VFX(ビジュアルエフェクト)を駆使した『ゴジラ-1.0』など数々の話題作を送り出してきた株式会社白組と日活調布撮影所で映画人のキャリアをスタートさせた音響効果の第一人者、柴崎憲治氏が選ばれた。授賞式は2月22日に文化会館「たづくり」くすのきホールで開催され、あわせて3月から劇場公開される『35年目のラブレター』の先行特別上映もある。

3月2日までの期間中には、市民らによる日本映画人気投票での上位作品が上映されるほか、関係者によるトークショーも予定されている。日本映画の魅力を堪能できる盛りだくさんのイベントが準備され、昨年は全期間で3万6000人が来場した。主催団体の調布市文化・コミュニティ振興財団は、さらに多くの映画ファンが集うことを期待している。

特別賞以外の受賞者・作品は以下の通り(敬称略)

作品賞:『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』 撮影賞:小林拓『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

照明賞:岸本秀一『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 録音賞:竹内久史『ゴジラ-1.0』

美術賞:須坂文昭『福田村事件』 編集賞:宮島竜治『ゴジラ-1.0』

第3回こども屋台選手権が2月24日(月・祝)に「てつみち」で開催

市内の小学4年～6年の子どもたちがチームを組んで、自分たちが考えたオリジナルメニューで調理して販売するイベント。今年は2月24日(月・祝)にトリエ京王調布 C 館北側の「てつみち」で開催される。現在8チームが参加(1月22日現在)。主催する調布市商工会青年部は「ぜひ会場で子どもたちの料理を味わってください」と呼び掛けている。

新たな総合福祉センターの整備に向けてのオープンハウス開催。完成予想図も展示

昨年12月7日の「福祉まつり」に合わせて、文化会館たづくり1階ロビーでオープンハウスが開催された。移転先は京王多摩川駅横。完成予想図が展示されるのは初めてとの事。地上10階建て1階には京王ストアが入る。「工事開始は令和7年度上期、完成は令和9年秋頃を予定」と福祉総務課の説明だった。利用者の合意は得られるのか注目したい。

マイナ保険証への移行、市役所1階のマイナンバーカード窓口で対面での支援

マイナンバーカードと従来の健康保険証が一体化した「マイナ保険証」への移行が始まって2カ月が経つが、カードの発行や健康保険証へのひも付けなどの不安が多い。「移行当初は約300人程度の問い合わせがありました。今後も対面での支援は続けて行きます」と市民課の担当者。電話での問い合わせはコールセンター0120-65-5865まで。

【FC東京応援記】

1月9日に始動した新体制のFC東京、2月15日にはアウェイ横浜FC戦で今シーズンが始まる。この時期は抜けた選手と新加入選手の背番号を睨み、沖縄キャンプの映像を見ながらどんなシステムのサッカーになるのかワクワク思いを馳せる毎日である。1番、2番、9番と主力のナンバーが空いているのは気になるところだが、ベテランから若手まで選手は揃っている。松橋力蔵新監督は熱血漢で調布国領出身でもあり調布市民としては大きな期待。この応援記も熱い日比生さんから引き継ぎ、新スタイルになりますのでよろしく願います。(東京イチロー)

ちょビット

No.42



調布社協 インフォメーション

調布市社会福祉協議会では、手話の普及と手話通訳者養成を目的とした手話講習会を開催しています。昨年、「調布市手話言語条例」「調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例」が制定されたり、今年は東京でデフリンピックが開催されるなど、手話への関心は益々高まっています。ぜひこの機会に手話を学んでみませんか? 受講希望の方はお気軽にお問い合わせください。

電話042-481-7800(障がい者支援係)

2025年2月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞



◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1日 ～ 15日	<p>① 第40回調布七福神巡り 今回はウォーキングを兼ねた新年の縁起行事調布七福神めぐりに同行。集合場所となった西光寺、厨房の神と親しまれている大黒天から、7番目の昌翁寺、無病・長寿の神、寿老人まで調布の七福神をご紹介します。約12キロ、約26000歩の長旅でした。</p> <p>② 駅前市場 マルシェ ドゥ 調布(トリエ京王調布C館周辺) 女性農業者組織 W-minds(ウーマインズ)のブースでは、地元を中心に生産した野菜や果物が並べられていました。調布の姉妹都市木島平村からも出店。会場では珍しいトロンボーンカルテットのライブ演奏も行われ、多くの家族連れが音楽を聴いたり、食事や買い物をして週末を楽しんでいました。</p>					<p>歩いて訪ねる 第40回 調布七福神めぐり 主催：調布市観光協会 参加開催日：2025年1月7日(火)</p>
16日 ～ 28日	<p>① 令和7年調布市消防団出初式 極寒の1月12日、朝10時、多摩川自然観察緑地に参加人員284名、消防車17台が集結しました。日頃より献身的に活動している消防団へ感謝のメッセージが読み上げられました。会場には江戸時代に活躍したはっぴ姿の火消し集団が登場。スリル満点、華麗なはしごのりが披露されました。</p> <p>続いて火事が発生したという想定の下、「火災発生」の声と同時に消防車がスタート、市民が見守る中、消化演習が行われ、最後に勢ぞろいした調布の消防団15分団が一斉に放水し出初式を終了しました。</p>					<p>令和7年 調布市消防団出初式 開催日：2025年1月12日(日) 会場：多摩川自然観察緑地</p>

ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
調布 FM: 83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内容	ご紹介
2月	3日(放送)	調布市シルバー人材センター 会長 名取訓さん	調布市シルバー人材センターが、昨年11月7日、ボランティア清掃活動の取組みで「市政功労者表彰式」の環境保全功労」に表彰されました。活動のお話等を伺いました。 インタビュー柴田紀恵子
	10日(再放送)		
	17日(再放送)	宮本苑生の『詩の世界』 新川和江さんの詩の朗読	昨年8月にご逝去なされた新川和江さんを追悼して、2020年4月放送の再放送をお届けします。朗読：峯田里香子
	24日(再放送)		

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索
<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP)
 (すべての番組2015年～現在まで)
<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)
 (すべての番組2004年4月～2015年3月)
<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式HP】

【アーカイブサイト】

【フェイスブック支局】

**子供や孫と称してオレオレ詐欺
「保証人やカバンをなくした」は詐欺**

 特殊詐欺のなかでもオレオレ詐欺が相変わらず多い。子供や孫と名乗って「友人の借金の保証人になった、風邪を引いて声の調子が悪い」などの電話はオレオレ詐欺の手段。調布警察署(電話042-488-0110)では「家族で合言葉(ペットの名前など)を決めておくのは有効な予防策です」と呼び掛け。

**台所からの出火、乾いた布きんを
コンロ周辺に置かない**

 令和6年の東京消防庁の調べでは住宅火災の原因は、トップが台所のコンロ周りからで、2位がタバコ。調布消防署(電話042-486-0119)では「台所のコンロ周りには、乾いた布きんなどを置かないように。また鍋に火をつけた時は絶対に目を離さないように」と注意喚起。日頃から火の用心。

＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429
 郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター-気付
 [編集・発行] NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14